

# 茨城NPO情報

## MONTHLY COMMONS

茨城のNPO活動を応援する月刊情報紙

...巻頭コラム・NPOのひとびと・トピックス

...NPO一日体験・情報掲示板・五軒町だより・あとがき

第17号  
2004.3

特定非営利活動法人 茨城NPOセンター・コムズ  
〒310-0063 茨城県水戸市五軒町2-2-23生野ビル102号  
Tel 029-300-4321 Fax 029-300-4320  
URL: <http://www.npocommons.org>  
E-mail [info@npocommons.org](mailto:info@npocommons.org)

### NPO会計支援の必要性

#### コラム

現在、NPO法人という形態で、意欲のある市民の方々が続々と法人の設立を目指されています。しかし、NPO法人設立後の運営において、営利法人以上に財政面及びこれを取り巻く諸問題に直面し、かつ弱い立場に立たされている場合が多いという社会的現実があります。このことに対して、ようやく全国の会計専門家が集まり始めました。

会計専門家はビジネスとして成り立たない部分を「やる気」でカバーしています。そのため、領収書の管理や出納帳といった帳簿の記載などの日常的会計業務を会計専門家がすべて行うことは、費やす時間と受け取る報酬から考えて到底不可能です。日常的会計業務については、NPO法人の側で会計に慣れたスタッフの方々にお願いしなければならないということになります。

専門的な諸問題を解決する会計専門家と、日常的会計業務をこなしていく会計スタッフの連携が、NPO法人の運営には不可欠であろうと思います。NPO法人の抱える諸問題とこれを解決して欲しいとするニーズに対して会計専門家がそれに応えようとしている現在、互いに理解しあい、協働していくことが出来れば、各法人の状況は改善されNPO全体の制度的発展も望めます。これから茨城でも、NPOを支援する会計専門家グループとサポーターグループを立ち上げますので、ご協力をお願いします。

(文 理事 神山直規)

### 茨城県認証NPO法人

189 (2月17日現在)

### 内閣府認証県在NPO法人

48 (1月30日現在)

### 勤労者マルチライフ支援事業 勤労者ばらんていあ・ねっと

<http://www.volunteer-net.jp>  
余暇や退職後の時間を活用して、ボランティア活動を始めませんか。コムズは、あなたの社会貢献活動を応援しています！  
「セカンドライフ」の充実を！

# 「地域のやる気」を形にする



NPO法人 コミュニティ・サポートセンター神戸(CS神戸) 中村順子さん

#### NPOのひとびと

##### 六甲山のいのしし?

CS神戸のホームページの中村さんの自己紹介は「六甲山のいのししに出会うとかわいい!」と言ってしまふひたすらまっすぐな、いのしし年。大胆かつ慎重、明朗かつ陰険、左党かつ右党、なぜか不均衡が私を安定させてくれる暴走?族です。

中村さんはまさにこの言葉通りの方。広告会社などを経て、30代半ばに地域づくりにかかわると、「住民参加型在宅福祉サービス団体」の草分けである「神戸ライフケア協会」に参加。1995年の阪神・淡路大震災半年後に、「東灘・地域助け合いネットワーク」を立ち上げ、復興支援に取り組む。被災者の「ケア中心」の活動から「助けてもらう人が助ける人になる」という双方向のコミュニティづくりへの転換、被災者の自立を支援する組織の必要性を痛感し、1996年に中間支援組織「CS神戸」を立ち上げた。

##### 大震災で気づいたこと

大震災は多くの地域のニーズを噴出させ、その中で中村さんは2つのことに気づく。第一は、地域福祉の重要性。震災で亡くなった方は約6400人、その多くが即死ではなく瓦礫の中で2~3日生きていた。サークル、会社など身近に探してくれる人がいた人の方が救出された。中村さんは、地域コミュニティの必要性と、地域福祉があつてこそ自分の幸せがあること、被災しないからといって幸せにはなり得ないことを実感する。第二は、地域住民が自立し、自発的に公共に参加することの重要性。震災時には行政も地縁の地域団体(自治会、婦人会など)もすぐに対応できなかった。市民が主体となってまちづくりを進める必要がある。しかし、完璧な個人や完璧な組織などあり得ない。市民社会という組織の中でも、自分の弱い所は他の人に補ってもらふ、そういう人と人との結びつきの必要性を感じたという。

これらの経験を活かし、CS神戸で

は、居住地共有の地域団体(自治会、町会、社協)と関心共有のテーマ型団体(ボランティア、NPO、サークル)の垣根を越えた近隣コミュニティ作りに取り組んでいる。「地域に喜んでもらえることがしたい」「経費に見合う収入を得て人の役に立ちたい」という思いを受けとめ、地域の困難を、地域の人々の技能・特技を活かしながら解決し、コミュニティを再構築してきた。

##### 多様な価値と向き合い 認め合う文化とNPO

CS神戸の原点は「あなたは地域のために何ができますか」という一人ひとりへの問いかけであり、どんな人でも地域福祉に役立たない人はいないという確信にある。CS神戸には、100人のボランティアスタッフが関わっているが、精神障害をもつスタッフもいる。その一人が昼食時に大声で集金する姿を見て、ひるまず主張することの重要性を再認識させられた。それが対行政交渉などで弱気になった時の助けになったとのこと。

1995年1月、瓦礫の街と化した神戸。あれから9年、神戸は市民が積極的に地域づくりに参加する先進的な街になりつつある。震災の教訓を糧に、市内NPOの中心となって活躍してきた、中村順子さんを紹介する。  
講演「市民発の地域福祉 ~ NPO・ボランティア団体でまちを生きいきしよう~」、2004年2月29日(日)、高萩市総合福祉センターにて)

NPO活動は言い換えれば、人間性を取り戻すこと。企業組織は多様性が排除され、画一的な動きが基本である。しかし、NPOは自主性と個性が重んじられ、話し合いによるコンセンサスが基本。このコンセンサス形成に多様な人材が参画することで、立場の違いを認識でき、人間性の回復につながる、と中村さんは言う。

CS神戸が設立や運営を支援した団体は46団体。活動分野は日常生活支援型(給配食・外出・日曜大工・特殊衣服製作・グループハウスなど)から、生活改善(リハビリ音楽・シルバードダンス・バリアフリーマップなど)、さらに権利擁護(DV・被害者支援など)、文化芸術に至るまで多彩で幅広い。今は、住民、バス事業者、NPOによるコミュニティバスの運行を軌道にのせようとしている。地域コミュニティ活動は自己完結方式ではなく、多様な地域の資源を持ち寄ることが成功の要因だと言う。今回の講演で紹介されたCS神戸の具体的実践例は、私たちが地域で活動を進める上でのヒントが詰まった宝箱のようだった。

(文 関口敦男、写真 相原早苗)

NPO法人 コミュニティ・サポートセンター神戸  
〒658-0053 兵庫県神戸市東灘区住吉宮町2丁目19-21  
Tel 078-841-0310  
Fax 078-841-0312  
E-Mail: [cskobe@mse.biglobe.ne.jp](mailto:cskobe@mse.biglobe.ne.jp)

### TOPICS

マルチライフ支援事業3年間で区切り  
団塊世代の男性の地域参加が時代のテーマとなる中で、勤労者が社会貢献活動や地域とかがわりやすい環境をつくる。この趣旨で茨城県経営者協会とコムズが事務局となってすすめてきた同事業が、3年間の国の委託事業期間を終える。ボランティア体験セミナー、NPOフォーラムなどのイベント、NPOの求人情報の収集と本紙や冊子類の作成、協働をテーマにした検討会など、企業、NPO、行政関係者が共に活動してきたことで、三者の接点は徐々に拡大してきた。特に退職後、NPOを立ち上げたい、企業自らがNPOを興せたいか、などの問い合わせも大分増えている。国の支援事業は新たに全国10地域で行われるが、茨城でも今後も事業の継続、発展に取り組むたい。

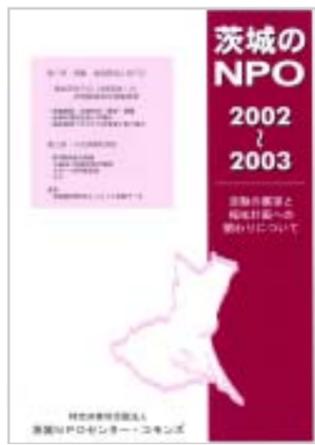
第2回ワンモアライフ勤労者ボランティア賞  
受賞おめでとうございます!  
ボランティア賞 中村 貴之さん(通信・放送機構つくば通信研究開発支援センター勤務)  
ナイスアシスト賞 NPO法人 リヴォルヴ学校教育研究所  
マルチライフを実践している勤労者やその活動を応援している団体を顕彰する事業で、茨城県からは二方が受賞。  
リヴォルヴ学校教育研究所は、学校にうまく適応できずにいる子ども達のための「小さな地域立学校」の設立を目指し、ライズ学園の運営やセミナー企画、教育相談活動や学校・地域教育の支援を行う団体。地域の多くの人々が教育にボランティアに関わる仕

組みづくりを実現している。  
中村さんは、同団体の法人設立時から中心的に運営に関わり、今年度「いばらきマナビ・ネット」の立ち上げではご自身の技術を活かし活躍している。また、職場の理解を得て市民活動団体の支援や地域づくりの活動にも積極的。

これからも益々活躍いただき、またボランティアを広めていただきたい。



書籍紹介



『茨城のNPO 2002-2003』
活動の展望と福祉計画への関わりについて
福祉系NPOの49団体の現状とこれからの展望を、訪問ヒアリング調査をもとにまとめた特集を組んでいます。...

イベント案内

子どもの権利条約フォーラムいばらきプレゼンテーション
子どもの権利条約フォーラムいばらきプレゼンテーション
年に1回開かれる、全国フェスティバルです。12回目の今年、茨城で秋に開催する予定です。...

利条約ネットワーク
協賛団体 NPO法人龍ヶ崎フォーラム
問い合わせ NGO未来の子どもネットワーク
Tel 0297-63-0722
爆笑ライブ 参加者募集
「人力舎ライブin水戸」爆笑オンエアバトルなどで爆走中のアンタッチャブルや田上よしえなどPerformer 10組による爆笑ライブ

主催 NPO法人水戸こどもの劇場
問い合わせ 水戸こどもの劇場事務局
Tel&Fax 029-255-0908
E-mail: gekijyou@bird.to
安心して子供を育てるためのワークショップ
受講生募集 12年わたる活動から、エッセンスをお届けします

机上の講義ではありません。頭のスイッチを切って、脳神経解剖や発達心理学の話と交えながら、実際に動く動きの中から、家族関係を含めた人間関係の結び方や、自分の心身の「かたより」を知る事が出来ます。この事業は茨城県社協「はんどちゃんネットワーク運動」の助成を受けて行っています。...

コース案内 土曜日午前コース(10時~正午)
土曜日午後コース(1時~3時)
月曜日午前コース(10時~正午)
月曜日午後コース(1時~3時)
\*内容は同じですので、振替受講可能です。
定員 各コース先着20名(合計80名)
受講料 各コース(全8回) 24,000円
申込締切 3月31日(水)
\*メールかファックスで申し込み
問い合わせ フリースペースすだち
Tel&Fax 029-259-2774
E-mail: sudatipan@ybb.ne.jp

ボランティア募集

植林ボランティア体験・内モンゴル沙漠植林交流協会植林協力隊 - 5月隊員募集 -
地元農牧民の自主的植林活動を支援することが内モンゴル沙漠植林交流協会の活動方針です。地元農牧民と協力して沙漠森林農場づくりや沙漠緑化学習会の開催など、地域に密着した活動を行っています。植林協力隊に皆様のご参加をお待ちしております。



NPO 一日体験レポート

地域福祉を考える集い
(2004年2月21日、水戸市福祉ボランティア会館)

地域福祉を考える集い「こんな『ふくし』はあなたにコンビニエンス~みんなで進める福祉のおもしろさを考えよう!~」に参加させていただきました。

基調講演では、自立生活歴20年目という細谷さんが、介護関連の法整備の矛盾などによる苦労話や、地域の方々のコミュニケーションの重要性、介護サービスとボランティアの弾力的かつ円滑な連携の大切さといった利用者側からの意見を述べられ、行政と地域の連携の必要性を深く考えさせられました。...

また、第2部ではパネルディスカッションということで、地域福祉活動に貢献されてきた先輩方の貴重な意見を聞いてとても参考になりました。その後のグループセッションでは、時間が短すぎて最後の1秒まで熱い声がそちこちで聞かれました。限られた時間の中では満足できない強者ぞろいだったようで、是非、次回はもっと余裕ある時間配分をお願いします。...



(文 鈴木宏治さん=アクティブ・コンピュータ、地域福祉プロモーター養成講座受講生)

日程 5月20日(木)~25日(火)
期間 6日間
旅行費 158,000円
問い合わせ NPO法人内モンゴル沙漠植林交流協会 代表 八代さん
Tel & Fax 0299-69-4539
E-mail: sabakusyokurin@rio.odn.ne.jp

里山ボランティア登録者募集
つくば環境フォーラムでは、多様な生き物が棲む里山の保全を進めるため「オオムラサキの棲む里山づくり」事業に取り組んでいます。森の手入れなどの里山づくりに継続的にかかわってくださる方を募集しています。...

お問い合わせ コミュニティレストランとらい
Tel 029-233-6544

五軒町 だより
事務日誌にかえて

うれしい春



外に出ると家々の庭から梅の花の香りがしてきます。そんな中、手に花束を持った高校生とすれ違いました。卒業式でしょうか。寒さは残るけれど、もうすっかり春。
つい先日いつものように大成女子高の前を通ると、大きな垂れ幕が目に入りました。なんとバレーボール部が春の高校バレー全国大会出場です!五軒町内ではちょっと大きなニュース。過去にも出場経験があるようで、こんな近くなのに知らずにいってしまったけれど、身近だというだけでなにも嬉しい気持ちです。頑張っしてほしいですね!

(文と絵 草間多佳子)

駆け込み情報

不要なFAXありましたらお譲り下さい。

問い合わせ コミュニティレストランとらい
Tel 029-233-6544

6544

聴覚障害者福祉作業所「工房ふくろう」

聴覚障害者福祉作業所「工房ふくろう」2004年4月開設に向け準備中!水戸市聴覚障害者協会(水聴協)は、水戸在住の聞こえない人たちの社会、生活、文化、教育などの平等を目指し活動しています。このたび、施設(双葉台団地)を借りて、パンを製造・販売する作業所を開設することになりました。みなさんの資金・物品・力・アイデアを求めています!!

- 1. 資金での協力を求めています。:賛助会員(年会費3000円)、寄付(個人1口1000円、団体1口5000円)
2. 物品での協力を求めています。:製パン用調理器具、オフィス用品など
3. ボランティアの力を求めています。:パン販売のサポート、オフィスのサポート(印刷物の作成と発送など)
4. 経理経験者募集

問い合わせ 聴覚障害者福祉作業所「工房ふくろう」設立準備委員会
Fax 029-224-1916

本紙常備施設・お店

- 八モナカフェ(Tel029-871-2157) 水戸芸術館(Tel029-227-8111) 水戸カトリック教会(Tel029-221-3976) ギャラリー「街かど美術館」(Tel0294-72-8888) 自然食レストラン「パンブキン」(Tel0293-42-1818) 常陸太田生涯学習センター(Tel0294-72-8888) カフェ「ピアニッシモ」(Tel029-255-3777) 自然食品「イーハトーブの森」(Tel029-254-3752) こどもとおとなの学校「恵藍舎」(Tel029-246-9689) 県水戸生涯学習センター(Tel029-228-1313) 交流サークルいばらき(Tel029-302-2160) 水戸市国際交流センター(Tel029-221-1800) 水戸市福祉ボランティア会館(Tel029-309-4141) まちの駅みと(Tel029-302-3100) 菜食カフェレストラン「Ritz'n(リッツン)」(Tel029-856-0009) つくば市民活動センター(Tel029-855-1171) 鹿嶋市立中央図書館(Tel0299-83-2510) 龍ヶ崎市市民活動センター(Tel0297-63-0030) 守谷市民活動支援センター(Tel0297-46-3370) 下館市立図書館(Tel0296-24-3530) 県生涯学習センター(Tel0296-24-1151) 県南生涯学習センター(Tel029-826-1101) 県立図書館(Tel029-221-5569) 水戸市立中央図書館(Tel029-226-3951) 水戸市立西部図書館(Tel029-255-5651) 水戸市立東部図書館(Tel029-248-4051) まちかど情報センター(Tel0299-27-5171) 水戸市男女文化センターびよんど(Tel029-226-3161) ロイヤルフィットネスクラブ(Tel029-273-3281) 阿見町町民活動センター(Tel029-888-2051) 伊奈町立図書館(Tel0297-58-3710)

あとがき

CS神戸の中村さん曰く、組織にはリーダー、マネージャー、コーディネーターが必要。その通り。(横田)「親の言葉とナスビの花は千に一つの無駄もない」こりゃこりゃ (なす) 情報掲示板担当です。主催者さんとのメールやFAXでの確認作業、小さなやりとり、楽しいひととき。(か) 大海に 永旅出づる 百合の華(ヤマト) 夢と現実、心と身体、どっかだけじゃやってけねえよ。(カムイ)